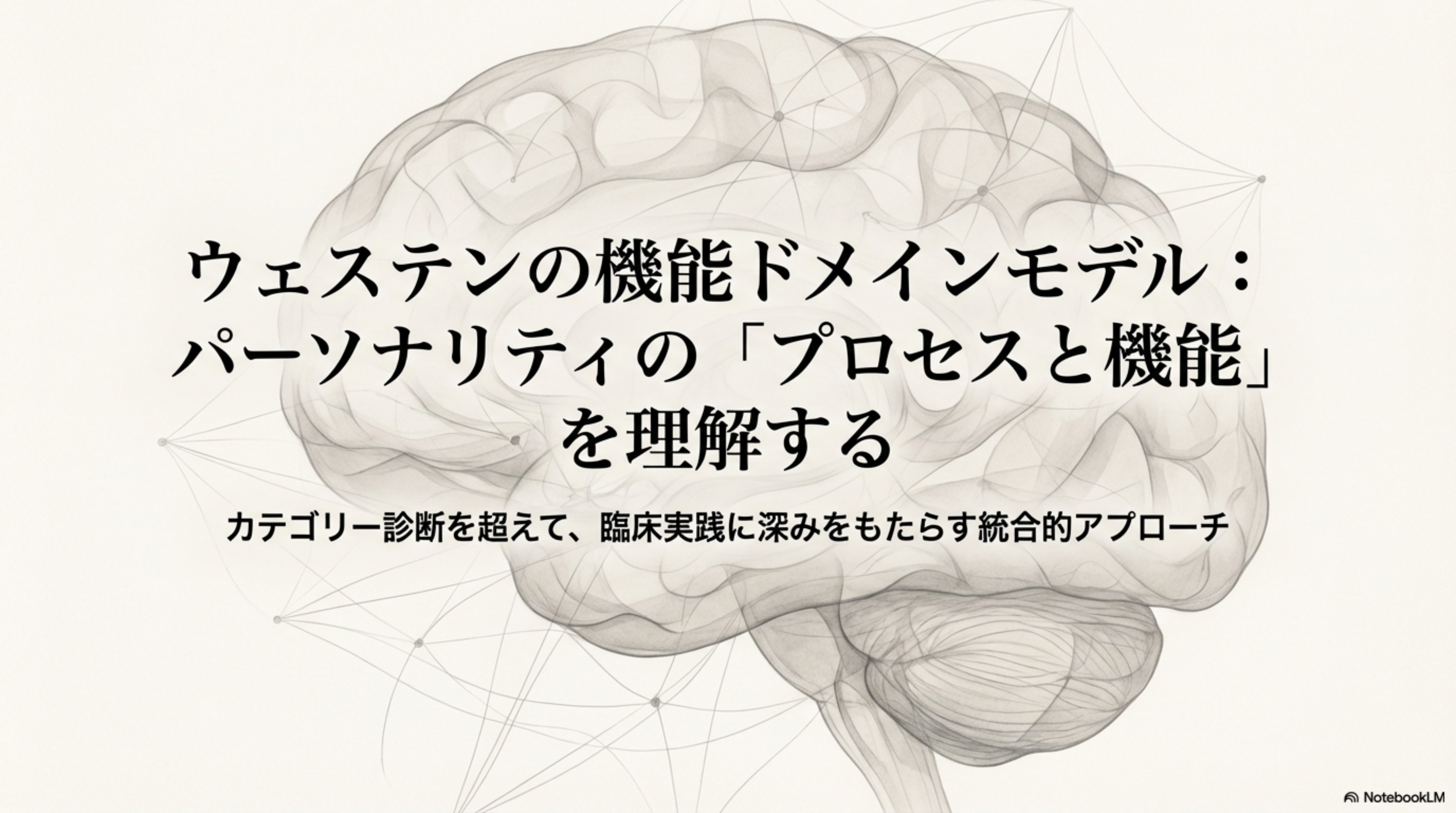




ウェス滕の機能ドメインモデル： パーソナリティの「プロセスと機能」 を理解する

カテゴリー診断を超えて、臨床実践に深みをもたらす統合的アプローチ

なぜ「機能ドメイン」なのか？：静的な分類から動的な理解へ

パーソナリティのプロセスと機能

(Process and Function of Personality)

従来の診断カテゴリーに留まらず、個人が用いる動機づけや感情調整の戦略、対人関係のパターン、認知スタイルといった、パーソナリティの「機能的」側面に着目する。

次元的方法 (Dimensional Approach)

健康なパーソナリティスタイルから重篤な障害までを連続体として捉える。これにより、単一のモデルで多様なパーソナリティ構造と病理を包括的に記述することが可能になる。



Static Categories



Dimensional Continuum

「このアプローチは、臨床家がパーソナリティの健全な側面と病理的な側面の両方に対応できる単一のモデルを提供することを目指している。」

モデルの核心：臨床家が自問すべき3つの問い

ウェス滕のモデルは、パーソナリティを評価する上で不可欠な3つの問いを中心に構成されている。これらの問いが、3つの機能ドメインの基礎となる。



動機と感情: この人は何を動機とし、何を恐れ、何を感じているか？



認知とリソース: この人は内的・外的要求に対処するために、どのような認知的・感情的リソースを持っているか？



自己と対人関係: この人の自己よび他者の表象はどのようなものか？また、他者との関係をどのように構築し、維持しているか？

ドメイン1：動機、感情、そして価値観

この人は何を動機とし、何を恐れ、何を感情として経験しているか？

動機 (Motivations): その人を駆り立てる根本的な欲求、願望、目標は何か。

恐れ (Fears): 回避しようとする中心的な恐怖や不安は何か。

感情 (Affects): 主要な感情状態はどのようなものか。その感情はどの程度、適応的か／非適応的か、また統合されているか／分裂しているか。

価値観と理想 (Values and Ideals): その人が何を大切にし、どのような自己像を理想としているか。

Clinical Relevance: このドメインの分析は、患者の内的葛藤や行動の根本的な「なぜ」を明らかにする。

ドメイン2：認知的・感情的リソース

この人は内的・外的要求に対処するために、どのようなリソースを持っているか？

- 感情調整能力 (Affect Regulation): 苦痛な感情をどの程度うまく管理し、表現でできるか。適応的な防衛機制と非適応的な防衛機制のバランスはどうか。
- 認知的プロセス (Cognitive Processes): 思考スタイル、現実検討能力、帰属スタイルなど。
- 行動的スキル (Behavioral Skills): 対人スキル、問題解決能力など、全体的なリソース。

Clinical Relevance: 患者の強み（リソース）と弱みを特定し、治療的介入の焦点を定める上で不可欠な情報を提供する。

ドメイン3：自己と対人関係のあり方

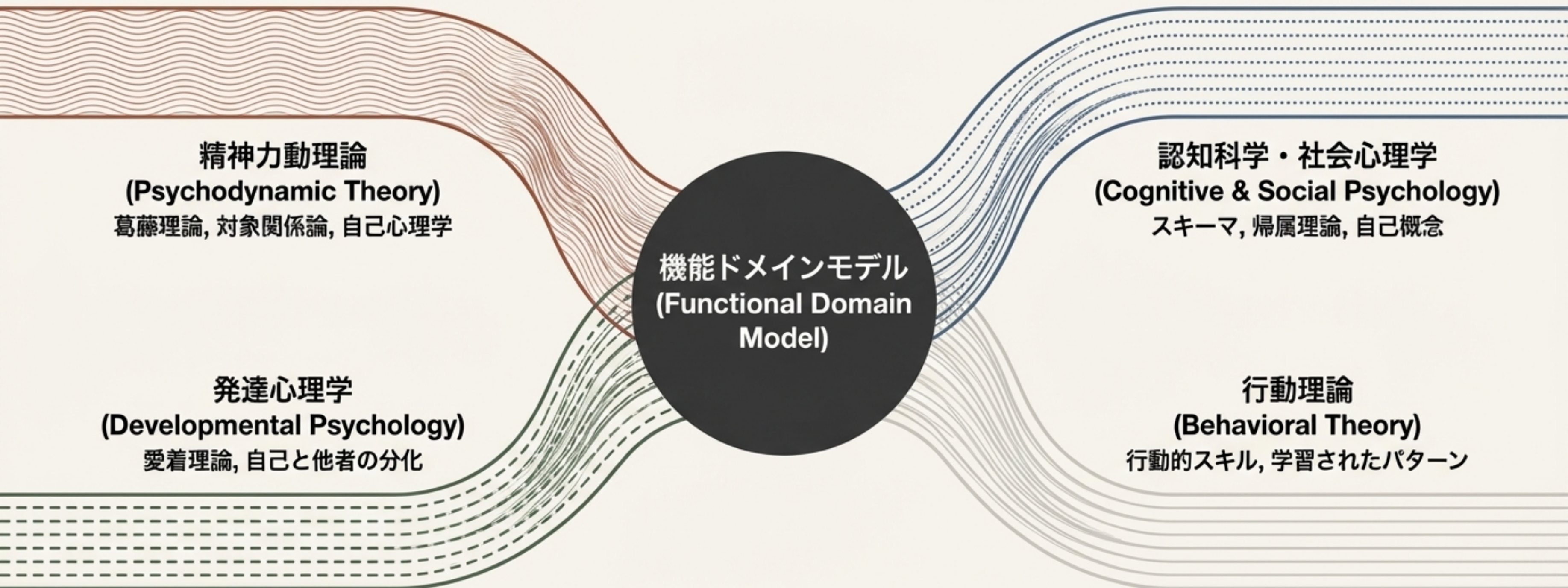
この人の自己および他者の表象はどのようなものか？ また、他者との関係はどうか？

- 自己表象 (Self-Representation): 自分自身についての一貫した、現実的な感覚を持っているか。自己評価は安定しているか。
- 他者表象 (Object Representation): 他者を複雑で独立した個人として認識できるか。あるいは、自己の欲求を満たすための断片的な存在として見ているか。
- 対人関係パターン (Interpersonal Patterns): 機能的、情緒的、そして満足のいく関係を築き、維持する能力はどの程度か。繰り返される非適応的な対人関係のテーマは何か。

Clinical Relevance: 愛着スタイル、転移のパターン、そして治療関係の質を予測し、理解するための鍵となる。

理論的基盤：多様な心理学理論の統合

ウェス滕のモデルは、特定の学派に偏ることなく、
臨床的に有用な概念を複数の理論的源泉から統合している。



臨床的有用性：診断カテゴリーに当てはまらない事例の理解

成功しているが、人間関係に問題を抱えるエグゼクティブの事例

The Clinical Challenge

呈示された問題

- 部下との間に絶え間ない対立を生じさせ、同僚からは傲慢と見なされている。家庭では感情的に孤立。

診断の困難さ

- 彼の問題は、自己愛性パーソナリティ障害 (NPD) や反社会性パーソナリティ障害 (ASPD) の診断基準を完全には満たさない。
- カテゴリー診断では彼の複雑さが捉えきれない。



The Question: 機能ドメインモデルは、この人物をどのように記述し、理解を深めることができるか？

事例分析：3つのドメインからエグゼクティブを読み解く



ドメイン1：動機と感情

他者からの称賛への強い動機。しかし、本人はその欲求を意識しておらず、合理化している（「業績が全てだ」）。他者への共感を欠き、対立を引き起こすことで無意識的に自身の重要性を確認している。



ドメイン2：認知的・感情的リソース

知的には非常に有能で、優れた問題解決スキルを持つ。しかし、感情調整能力は低く、批判に対しては怒りで反応しやすい。防衛機制として知性化や合理化を多用。

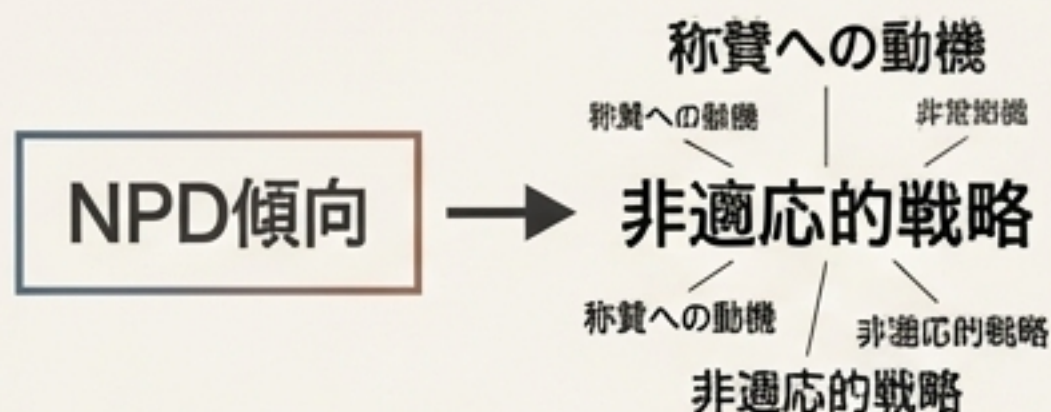


ドメイン3：自己と対人関係

自己表象は誇大的だが脆弱。他者を表面的かつ道具的にしか捉えられない。結果として、永続的で満足のある対人関係を築けず、他者を遠ざけてしまう。

モデルがもたらす洞察：ラベルから治療戦略へ

Insight 1: Beyond a Label



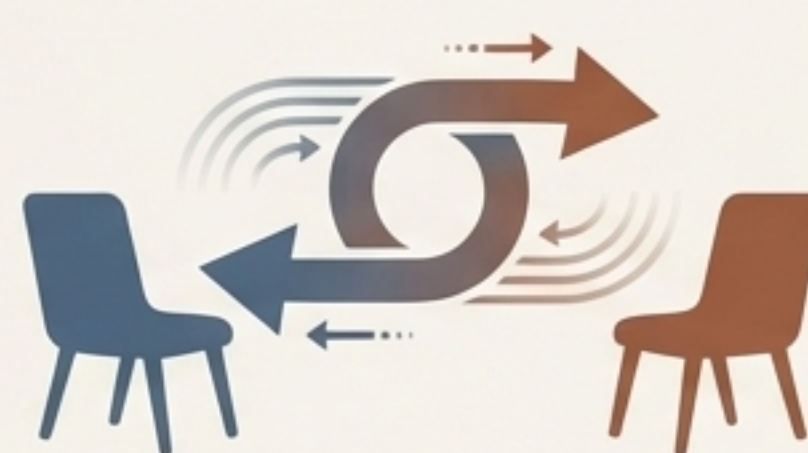
「NPD傾向」という曖昧なラベルではなく、「称賛への強い動機と、それを満たすための非適応的な対人戦略」という具体的な機能的記述が可能になる。

Insight 2: Identifying Contradictions



高い知的リソースと低い感情的リソースという矛盾を明確にする。治療では、彼の知的能力を使いながら感情的認識を促すアプローチが有効かもしれない。

Insight 3: Predicting Therapeutic Dynamics



治療関係においても、賞賛を求めたり、治療者を理想化・こき下ろしたりするパターン（転移）が予測される。

このモデルは、診断基準を満たさない患者のパーソナリティ病理を記述し、治療介入の具体的なターゲットを特定するために極めて有用である。

パーソナリティ障害（PD）の理解への応用

このモデルは、特定のPDに見られる特徴的な症状や行動パターンを機能的に説明する。

Example 1: 境界性パーソナリティ障害 (BPD)

観察: 見捨てられることへの極端な恐怖

Functional Analysis:

🧠 **ドメイン1:** 「つながり」への強い動機と、「孤独」への根源的な恐怖。



🧠 **ドメイン3:** 自己と他者の表象が不安定で、分裂している。



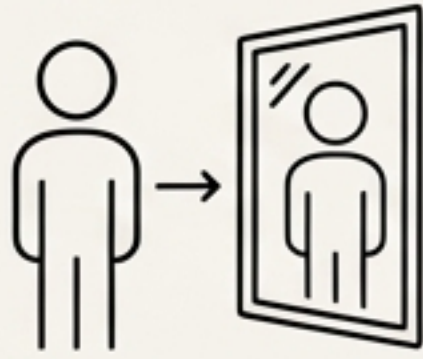
Example 2: 自己愛性(NPD) vs. 統合失調質(SzPD)

観察: 他者への関心の欠如

Functional Analysis

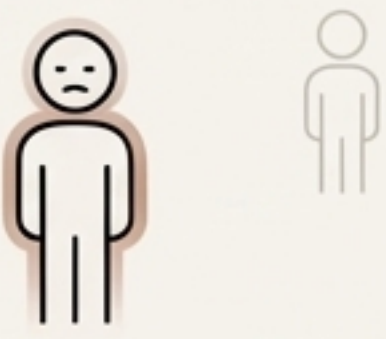
NPD column

他者を「自己の延長」と見なす対人関係パターンの問題（ドメイン3）。



SzPD column

そもそも対人関係への動機自体が低い（ドメイン1）。



Key Takeaway:

同じような行動でも、その背後にある機能（動機、リソース、対人パターン）は全く異なる可能性があることを明らかにする。

評価ツールとの連携：SWAP-200

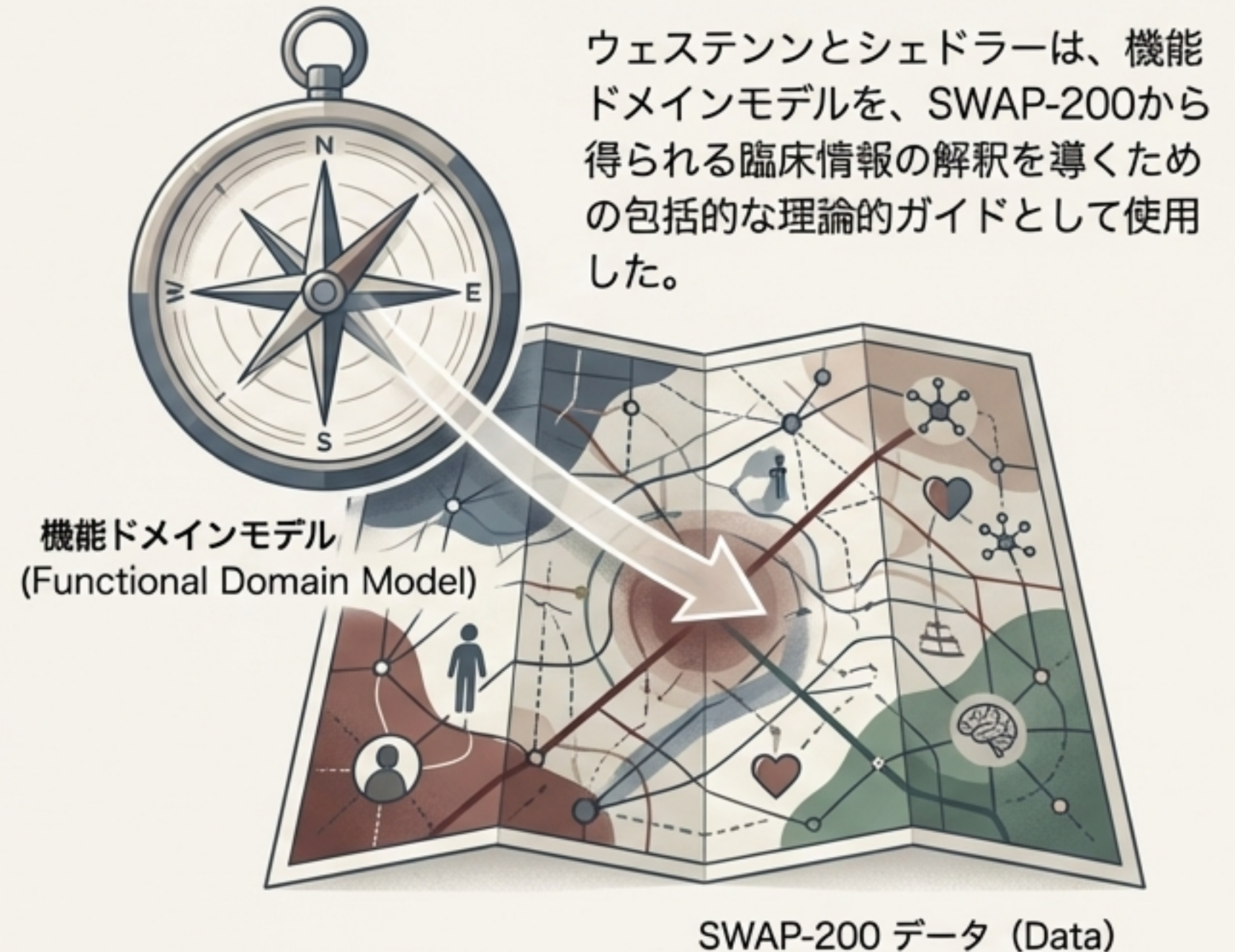
What is SWAP-200?

正式名称: Shedler-Westen Assessment Procedure (シェドラー＝ウェステン査定手続き)

概要: 臨床家が使用するために設計された、200の記述項目からなるパーソナリティ評価尺度。Qソート法を用いる。

重要な注意点: モデルと尺度は密接に関連しているが、互いに必須ではない。モデルは、SWAP-200を用いなくても、臨床家の思考を整理し、事例定式化を深めるために単独で活用できる。

The Relationship



まとめ：ウェス滕の機能ドメインモデルが臨床にもたらすもの

統合的な視点 (Integrative View) :

精神力動、認知、発達など複数の理論を統合し、包括的な理解を提供する。

臨床的直観の言語化 (Systematizes Clinical Intuition) :

臨床家が経験的に感じている患者の複雑さを、構造化された枠組みで記述・伝達することを可能にする。

次元的な柔軟性 (Dimensional Flexibility) :

健康な機能から重篤な病理まで、パーソナリティの全範囲を一つの連続したモデルで捉える。

治療への示唆 (Informs Treatment) : 単なる診断ラベル付けに終わらず、患者の強み、弱み、そして治療介入の具体的な焦点を明らかにする。



複雑な人間性を尊重し、より深く、より機能的な理解へと導くための、実践的な思考ツールである。